

皆さま、元気でお過ごしでしょうか？暮らしと住まいを快適にするためのちょっと役立つ情報をお届けします。
今回のテーマは「和の暦で楽しむ冬暮らし」です。
春夏秋冬の四季を楽しんだ昔の日本人の知恵を知り、季節の変化を感じながら冬の暮らしを楽しんでみませんか。

昔の暦<旧暦>の基本を知ろう！

現在、私たちの使うカレンダーは新暦(太陽暦)ですが、かつての日本では旧暦(太陰太陽暦)という暦が用いられていました。そして春夏秋冬それぞれを6つに分けた「二十四節気 にじゅうしせつき」を季節の目安としていました。例えば冬は、冬がはじまる「立冬 りっとう」(11月上旬頃)、小雪がちらつきはじめる「小雪 しょうせつ」(11月下旬頃)、本格的な冬を迎える「大雪 たいせつ」(12月上旬頃)、1年で最も夜が長くなる「冬至 とうじ」(12月下旬頃)、寒さが厳しくなる「小寒 しょうかん」(1月上旬頃)、最も寒さが厳しくなる「大寒 だいかん」(1月下旬頃)と、冬の変化に沿った名がつけられています。

冬をもっと楽しむ行事あれこれ

昔から続く行事には、自然に寄り添って暮らした日本人の知恵が詰まっています。ここでは「食」に関する行事の一部を紹介しましょう。

風邪を防ぐためにカボチャを食べ、風呂に柚子を浮かべる冬至の日。寿命が長くのびるなどの縁起をかつぐとされる大晦日の夜に食べる年越し蕎麦。1年の無病息災を祈る人日(じんじつ)の節句、1月7日の七草がゆ。神様に供えた鏡餅をお下がりとしていただく鏡開き。もともとは五穀米をまいていたという節分の豆まきなど…
各行事は地域によって異なることもあります。それぞれの暮らす地域の行事や風習を改めて見直してみれば、新しい発見があるかもしれません。家族で冬の行事を実践し、季節の変化を肌で感じてみてはいかがでしょうか。

年末年始から春にかけて慌ただしい季節ですが、旧暦をたどり昔から続く行事を生活に取り入れながら、見逃しがちな自然の変化を楽しんでください。



◆暮らしメモ◆

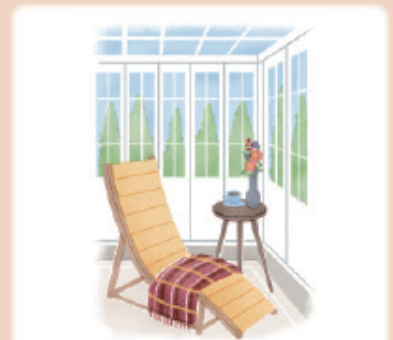
●屋外の自然を楽しむミッドテリア空間

季節や天候に左右されることなく、屋外の四季を家の中で楽しみたい…そんな願いを叶えてくれるミッドテリア空間に注目が集まっています。ミッドテリア空間は、日光浴を楽しめるガラス張りのガーデンルームや、日本家屋の縁側のような屋根のあるスペース。屋外の自然と家の暮らしをつなぐ、四季を満喫しリラックスできる空間です。

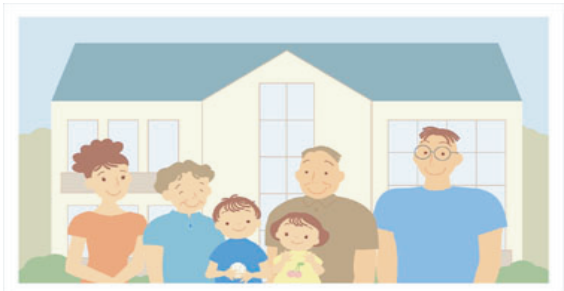
●リラックスを演出するコーディネート

ゆったりくつろげるミッドテリア空間をつくるには、そのコーディネートも重要になってきます。昼寝もできるラウンジチェアから、床で伸び伸びと過ごせるような和テイストのクッションまで、多様な選択肢がありますので、それぞれのスタイルに合わせリラックスできるものを選びましょう。

また、家族が多くの時間を過ごす日々の生活の中心となるリビングでも、四季を楽しむことが可能です。屋外との境目である窓のスペースをうまくコーディネートしたり、四季折々の花を飾ったりするなど、簡単にできることから挑戦してみてください。



ガーデンルームやリビングで家族と過ごす際、屋外の自然を眺める時間を作ってみませんか。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp